

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票 (評価対象年度：令和5年度)

施設の名称	名取市友愛作業所
指定管理者の名称	社会福祉法人名取市社会福祉協議会
施設所管部課(室)	健康福祉部社会福祉課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)	摘要
平成4年4月～平成12年3月	直営		
平成12年4月～平成18年3月31日	管理受託	社会福祉法人名取市社会福祉協議会	
平成18年4月1日～	指定管理者	社会福祉法人名取市社会福祉協議会	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	社会福祉法人名取市社会福祉協議会
	所在地	名取市増田五丁目13番35号
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日 (5年0ヶ月)	
募集方法	公募 ・ <u>非公募</u>	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市友愛作業所
所在地	名取市増田一丁目7番28号
設置年月	平成4年4月(精神障害者通所施設として設置)
根拠条例等	名取市障害者支援施設条例、名取市障害者支援施設管理規則
設置目的	雇用されることが困難な在宅の障害者に対し、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく就労移行支援、就労継続支援を行うため。
施設の内容	訓練・作業室、食堂兼作業室、多目的室、移行訓練作業室
開館時間	午前9時～午後4時
休館日	土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始(12/28～1/4)
指定管理者が行う管理運営業務	就労移行支援の実施に関する業務 就労継続支援の実施に関する業務 施設の維持管理に関する業務 その他市長が別に定める業務
利用料金制度	採用の有無 <u>有</u> ・ 無
	利用料金の名称：施設の利用に係る料金

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	
開所日数	241日	242日	241日	99.6%
延べ利用者数	4,169人	3,973人	4,421人	104.9%
利用者数 (人/日)	17.3人/日	16.4人/日	18.3人/日	105.5%
主な増減原因	令和5年度中の入所は5名で退所は2名であり利用者が増加した。増加した要因としては令和4年度から開始した利用者の送迎が考えられる。なお、令和5年度より送迎範囲を拡大している。			

(注) 対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

(1) 収入

(単位：千円、%)

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	
指定管理料	5,000	5,000	6,000	100.0%
利用料金収入	26,746	25,122	27,150	106.5%
その他	5,767	7,040	6,324	81.9%
収入計 (ア)	37,513	37,162	39,474	100.9%

(2) 支出

人件費	29,237	28,472	27,801	102.7%
施設管理費	3,973	3,922	5,333	101.3%
事業運営費	2,624	2,541	2,386	103.3%
その他	6,608	6,634	6,426	99.6%
支出計 (イ)	42,442	41,569	41,946	102.1%

(3) 収支

収支 (ウ) = (ア) - (イ)	-4,929	-4,407	-2,472	111.8%
前期繰越収支差額	33,893	38,300	40,772	88.5%
次期繰越収支差額	28,964	33,893	38,300	85.5%

**6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】**

施設見学や看護実習の受け入れ  
自主製品販売事業に係る販売額の確保  
(工賃向上計画上の一人当たりの目標工賃額15,700円/月、令和5年度一人当たりの工賃額12,604円/月)  
あおぞらててマルシェの開催(月1回)  
令和4年12月から送迎を開始しており令和5年度より送迎可能範囲を拡大  
リフレッシュデー、忘年会などを実施  
令和5年1月から友愛クラブによるボランティア活動の再開  
名取支援学校へ卒業後の利用先として案内  
近隣の相談支援事業所へ施設パンフレットの配布

**7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】**

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、実施できなかったリフレッシュ事業などについて、利用者の要望などを考慮して、令和4年度から随時実施し、令和5年度も引き続き実施した。

**8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】**

- ・登録者及び利用者の拡大増による収入の確保
- ・受託業務拡大による工賃の確保
- ・送迎希望増による職員の負担増に対する対応
- ・利用者への職員による適切な支援

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	◎	◎
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
	2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○
業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。			○	○
自主事業の 実施		施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
利用者の満足 度向上		利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	○
利用者の苦情、 要望等の把握		利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		とその対応	苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○
利用状況等		利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	△	△
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準（目安）】

評価		評価の考え方
◎	(優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

業務内容の全般について、関連する基準等を遵守するとともに協定書等に定める業務を適正に実施していた。

施設の利用実績について、延べ利用者数、利用者数ともに前年度より増加している。その要因は利用者の送迎の実施であると考えられる。令和4年12月から送迎の試行を開始し、令和5年度からは本格的に送迎を行い、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。送迎希望者の増加に伴い職員の負担が増すことが見込まれるが、利用者数の確保に向けて引き続き取り組むことを希望する。

収支決算の収入面について、令和4年度と比較して利用料金収入が増加している一方、その他収入が減少している。その要因は利用者数の増加と受託事業収入の減少である。受託事業収入については相手先あつてのことであるためやむを得ないところもあるが、既存の受託事業契約の内容の見直し（作業単価の上昇）の実施や新規受託事業の獲得に向けた営業活動を行っており、引き続き受託事業の収入確保に向けて取り組むことを希望する。また、適正な職員の数の把握と雇用により収支改善につながる経営が行われるよう期待する。なお、令和6年度の障害福祉サービス等の報酬改定により次年度以降の利用料金収入の増加が見込まれており収支状況の改善が見込まれる。

友愛作業所は雇用されることが困難な障害のある方への活動の機会を提供する場や障害のある方への一般就労の場として重要な役割を担っており、今後も利用者に寄り添った事業展開が行われることを期待する。